



生産量の増加や品質の向上に向けた こだわりのイチゴ栽培

イチゴ経営 城島町 坂井 隆通 さん (32歳)

先輩に恵まれて

城島町でイチゴ「あまおう」を栽培する坂井隆通さん。祖父が営んでいた農業に興味を持ち、約4年前に会社を退職、父母と共に就農しました。

就農を考えた時に、広い農地を管理する大規模経営を行うより、目の届く範囲で徹底した栽培管理を行い、こだわりの農産物を作りたいという思いから、生産する品目としてイチゴを選択しました。

就農するにあたって、約1年間、同じ町内のイチゴ農家の元で働きながら、イチゴ栽培の知識と技術の習得に励みました。現在も、お世話になった先輩農家との交流を続け、アドバイスをもらいながら自分の経営に活かしています。

イチゴへの思い

「イチゴ栽培は難しい。でも、成長する変化を見ながら農作業を行うことは、会社勤めにはないやりがいを感じる。」と話す隆通さん。一つ一つの作業の意味を考えながら、行き届いた管理を行っています。今後は、定植する株数を増やし、もみガラを利用した土壌改良や、機械導入による作業の自動化、適期作業の追及など、様々な工夫を凝らすことで、生産量の増加や品質の向上を目指します。

地域の農業を支える

「営農開始当初は、作業に追われ、時間に余裕がなかった。」と話す隆通さん。

現在では生産のペースを掴み、就農3年目にしてJA青年部やイチゴ部会の役員を務め、地域農業のけん引役としても活躍しています。

